

プチ情報

ワンちゃんが添い寝する理由

ワンちゃんが飼い主に添い寝してくることは珍しくありません。多くの場合は、甘えたいという気持ちや安心できるからという理由が関係しています。

添い寝は飼い主さんに対する信頼の証ですので、寛大な心で受け止めてあげましょう。



出典：[https:// natgeo.nikkeibp.co.jp](https://natgeo.nikkeibp.co.jp)

1.安心して眠れるから

飼い主さんは最も信頼できる存在です。

何か怖いことが起こっても必ず守ってもらえる、助けてくれると信じています。

2.飼い主に甘えたいから

お昼寝で寝転がっている時や、くつろぐために横になっている時など、愛犬が隣にやってきて腰を下ろし、そのまま添い寝してくるのは、甘えたいという気持ちによる行動です。

3.飼い主を外敵から守ろうとする本能

犬は仲間意識の強い動物です。この本能が働き、眠ろうとしている無防備な飼い主の隣に添い寝する形で陣取っている犬も多いです。

4.何か不安があるから

普段はあまり添い寝してこない場合は、何らかの不安を抱えている可能性が高いです。

5.単純に布団が心地いい！

一度飼い主と一緒に添い寝した時、布団の気持ち良さに気づいてしまった犬も多いでしょう。すると、人間と同じように、次から布団の上で眠りたいと思うものです。

プチ情報

猫ちゃんの腹部のたるみはにゃに？

猫ちゃんが歩くときにぶるぶると揺れるおなかが脂肪でなければ一体何なのか、その正体について科学系ニュースサイトの Live Science が解説しています。あれはルーズスキンという部分らしく、正常で健康なものだそうです。どんな意味があるのかという説は3つあります。



出典：<https://www.tyojyu.or.jp/>

1つ目の説は「戦闘の際に敵の爪や歯を腹の中に食い込ませないようにして、内臓を保護するため」というもの。

2つ目の説は「猫ちゃんがより速く移動できるようにするため」というもの。ルーズスキンが伸び縮みすることで、体の柔軟性が増し、より遠くまで走ることができると考えられています。

そして、3つ目の説が「大量に餌を食べて、そのエネルギーを保存するためのスペースになっている」というもの。

大きな獲物を仕留めて食べて蓄えた脂肪を貯蓄することで、ルーズスキンが栄養タンクとして機能するというわけです。